



クルマエビの放流体験
(沙弥島海水浴場)

第4回議会報告会を開催しました	
議会新体制がスタート	2
7人が一般質問	5
議会報告会を開催	10

坂出北インターチェンジは「命の道」、フルインター化の早期実現に向けて！！

市議会の新体制がスタートしました

5月19日に開催された臨時会において、指名推選により新しい正・副議長が選出されました。また、各常任委員会の構成も変更がありました。

なお、正・副議長の選出に当たっては、透明性の確保のため、候補者があらかじめ所信表明を行った上で選挙を行う立候補制を採用しています。所信表明を抜粋して掲載します。



植條 敬介 議長

我が坂出市議会では、市民にわかりやすく、市民が参画できる議会を実現するため、平成23年6月より検討を重ね、平成24年5月臨時会において坂出市議会基本条例が全会一致で可決されました。この条例に則り、本会議での一問一答方式の導入、費用弁償の廃止を行うとともに、市民への説明責任を果たすために、議会報告会を4回行ってきました。ただ、議会改革はまだ始まったばかりであり、これからも全力を尽くしていかなければなりません。

そこで、市民の方々へ積極的に議会情報を発信するとともに、市民の方々の意見を的確に把握することに努めます。また、議会としての共通認識の醸成を図るため、議員の資質向上を念頭に議員研修会等を行い、強い議会づくりに鋭意努力していきます。

また、我々は、議決機関として、様々な意見を出し合い、課題や論点を明らかにしながら、市民にわかりやすい議論をしていかなければなりません。合意形成を図っていくことに努めることで、互いに協力し合う坂出市議会を目指していきます。



松田 実 副議長

これまで本市議会では議会改革の取り組みを進めてきましたが、議会報告会を各地域で実施する中で、人口減少対策や新市立病院の開院に向けての取り組み、防災対策など、市民の方々から様々な意見・要望が寄せられました。我々議会が研鑽を深め、より一層の創意工夫と努力を積み重ねることで、これらの意見・要望等に応えていきたいと考えています。特に市立病院の跡地利用については、多くの市民の方々が関心を持たれており、喫緊の課題であると考えています。

また、地方分権の進展とともに、首長と議員とともに直接選挙で選ぶ二元代表制の仕組みにおいては、議会の役割も重要になると考えており、前に述べたような様々な行政課題が山積する中、慣例にとらわれることなく、少数の会派の意見も大事にしながら審議、討議を積み重ねた上で、執行機関に対するチェック機能を十分に果たすことで、市民の方々により一層信頼される議会運営に努めていきたいと考えています。

平成26年 5月臨時会の審議結果

議員数 = 22名 表決参加議員数 = 21名
※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案（可決・同意）

市長提出議案

専 決

専決処分の承認（坂出市税条例等の一部を改正する条例）など2件

そ の 他

坂出市職員懲戒審査委員会委員の任命



教育民生 委員会

健康, 児童・高齢福祉,
教育, 病院など



委員長 山条忠文



副委員長 末包保広



委員 大前寛乗



委員 松田 実



委員 松成国宏



委員 中河哲郎



委員 東山光徳



総務消防 委員会

総務, 政策, 財務, 税務
防災, 消防など



委員長 茨 智仁



副委員長 若谷修治



委員 齊藤義明



委員 楠井常夫



委員 植條敬介



委員 大藤匡文



委員 若杉輝久



委員 木下 清

議会運営 委員会

議会の円滑・効率的な
運営を図ります

委員長 大藤匡文 副委員長 齊藤義明

委員 末包保広 委員 大前寛乗

委員 若杉輝久 委員 吉田耕一

委員 木下 清



市民建設 委員会

市民生活, 道路, 港湾,
下水, 水道など



委員長 村井孝彦



副委員長 出田泰三



委員 脇 芳美



委員 野角満昭



委員 別府健二



委員 前川昌也



委員 吉田耕一

広報広聴 委員会

議会報告会の企画や議会
だよりの編集を行います

委員長 若杉輝久 副委員長 出田泰三

委員 若谷修治 委員 村井孝彦

委員 楠井常夫 委員 末包保広

委員 松田 実 委員 木下 清

6月定例会

条例制定案などを可決



6月定例会では、初日に、市長より補正予算案4件、条例制定案3件、町区域の変更などの議案3件が提案され、所管委員会の審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件1件が追加提案されるとともに、議会運営委員会より意見書案1件が提出されましたが、いずれも原案のとおり可決しました。

主な条例の内容・目的

坂出市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員の処遇の改善を図るため、消防団員退職報償金支払い額を一律5万円（最低支給額20万円）増額するものです。

※9Pに委員会での議論を掲載しています。



最高額（団長）

929,000円 → 979,000円

最低額（団員）

144,000円 → 200,000円

補正予算関係

一般会計補正予算案は9,654万1千円を増額し、補正後の予算総額を221億7,434万1千円とするものです。また、予算とは別に、情報処理システムのうち、税業務などの基幹となるシステムの再構築に必要な費用、3億7,100万円などを債務負担行為として決めました。主な内容は以下のとおりです。

商工費

■崇徳上皇没後850年記念事業実行委員会補助金 200万円

崇徳上皇没後850周年の節目に、まち歩きツアーや坂出市プロモーションビデオを制作。

土木費

■人工土地総合再生基本設計等委託料 約4,400万円

建築的価値やデザインを継承しつつ、耐震改修を含め人工土地を総合的に再整備するための基本設計等を行う。

※9Pに委員会での議論を掲載しています。



平成26年 6月定例会の審議結果

議員数 = 22名 表決参加議員数 = 21名

※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した議案（可決・同意）

市長 提出	予算	平成26年度坂出市一般会計補正予算案（第1号）など予算案4件
	条例	坂出市税条例等の一部を改正する条例 など条例案3件
	その他	町区域の変更 などその他案3件、人事案件1件
議員 提出	意見書	手話の普及促進を図るための環境整備を求める意見書 ※意見書の全文を8Pに掲載しています。

議会報告会の詳細は、市議会ホームページをご覧ください

一般質問 7名の議員が市政について聞きました

質問者の質問順に掲載しています。
一般質問の詳細や過去の質問は、会議録で閲覧できます。

吉田耕一議員 新 政 会

▼坂出港の港湾管理主体を県へ変更する考えはあるのか

問 県内の主要港のうち、市が主体となり港湾管理を行っているのは坂出港のみである。本市が管理主体となった昭和28年当時と比べて港を取り巻く環境は大きく変化しており、将来に向けた戦略的な観点も含めると、港湾管理を市から県へと変更し、県下の港湾を県が一元管理することも必要と考えるが。

答…市長 将来を見据えた港湾戦略には、エネルギー問題や企業誘致等、まず国が将来像を示す必要があると考えており、その意味において、今後、一元管理の必要性が顕在化する可能性はあります。ただ現時点では、港湾計画の見直し等、市内企業の収益となるよう港湾管理を進めていくことが喫緊の課題であると考えています。

▼健全経営を維持し市民の医療ニーズに応えられる新病院に

問 本市の高齢化が進む中、新病院は、市民の医療ニーズに応えるとともに、健全経営を維持しながら病院経営を行っていくことが求められると考えるが。

答…市立病院事務局長 地域の中核病院として、救急医療、急性期医療に対応し、市民から必要とされる小児・産科・脳神経外科の医療に取り組むとともに、高齢化に伴い増加が予想され、かつ市外の病院等への流出が多い脳卒中、循環器疾患の医療ニーズに対応します。あわせて生活習慣病予防の啓発・教育活動から、がん疾患の急性期医療、緩和医療、在宅支援まで市民のライフサポートを行い、へき地医療を継続していくことで病院の健全経営を維持していきます。



建設中の新病院

一般質問

質問の主な項目

- ・港湾管理について
- ・新病院の運営等について
- ・火葬場の新築について

野角満昭議員 日本共産党議員会

▼学校樹木の剪定費用の予算措置を求める

問 多額の経費がかかる学校の樹木の手入れは、現場や保護者の負担に依存するのではなく、教育委員会の責任として予算措置を図るなど、抜本的な改善が必要ではないか。

答…教育部長 樹木の管理が、地域の方々や保護者、教職員の協力により維持管理がなされている学校園もあり、心より感謝しています。維持管理に係る費用負担の抜本的改善については、高木や松等の剪定に係る専門的技術の要否判断や管理経費の見積もりを行い、一年限りあるいは一回限りの対応ではなく、継続的に適正な維持管理ができるよう検討しているところです。

▼産直市を活用して坂出三金時など農産物のPRを

問 最近、産直市は食の安全や地産地消の観点だけでなく、観光やグルメの発信スポットとして注目を集めている。そこで、坂出三金時など本市特産の農産物を県外へPRする場として産直市を積極的に活用しては。

答…建設経済部長 本市の特産品である三金時に加えブロッコリー、レタスなどの販売促進のため、JA香川や生産者等と合同で京浜地区等の市場でのトップセールスに努めています。また、産直市のPRとして、JA香川県のホームページに産直市ガイドマップが掲載されています。

問 歴史や観光と結合した取り組みは。

答…市長 観光協会によるツアーに産直市を取り入れ好評を得ていることから、今後も歴史・文化や観光資源を活用した産直市の更なるPRに努めます。

質問の主な項目

- ・地域医療・介護総合確保推進法について
- ・教育改革について
- ・産直市を活用した農業振興について

村井孝彦 議員

市民グループ
未来の会

▼**坂出市政の通知表を再開し、市民共働・市民参加につなげては**

問 以前は広報さかいで紙面上に掲載していた「坂出市政の通知表」を再開し、市政の自己評価を広くPRすることで、さらなる市民共働、市民参加につなげてはどうか。

答…市長

来庁者の方々等へ実施したアンケート結果をもとに、平成22、23年の各6月号に「坂出市政の通知表」を掲載しましたが、現在は、実施方法を課題も多いことから掲載を見送っています。しかしながら、出前ミーティングや目安箱の活用など、市民の皆様のご意見を伺うことについては、継続して実施していることです。

市政の内容は千差万別であり、なかなか評価が難しいものではありませんが、敢えて市政を自己評価するならば、私としては、まずまずの及第点はクリアしているのではないかと考えています。

項目	数値
人口	2,364
出生	3,264
死亡	2,264
転入	3,214
転出	2,264

▼**流入超過である昼間人口を糸口に人口増対策を進めては**

問 坂出駅は、通勤通学の要衝であり、駅周辺の整備は急務であると考えられる。坂出の医療、教育、介護、通勤交通の利便性等を魅力としてとらえた人々がさらに住みたいと思える条件は、ライフラインの整備も含めた宅地環境の整備であり、「人口増」の糸口となると考えるが。

答…副市長

平成22年の国勢調査の結果によると、他市町から本市への通勤通学者は17,049人、本市から他市町への通勤通学者は10,953人で、約6,000人の流入超過となっています。

交通の要衝であることの利点を活かし、市外から本市に通勤される方等が一人でも多く定住していただくことが人口増に向けた重要な視点の一つと考え、今年度から市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯に対して家賃補助事業を開始しました。今後も生涯にわたって住み続けたいと思えるようなまちづくりを目指していきます。

質問の主な項目

- ・綾市政の自己評価について
- ・市長の行政指導について
- ・観光資源の活用について

若杉輝久 議員

公明党議員会

▼**地域コミュニティ継続計画のマニユアル策定を**

問 災害時に必要な避難体制の確立や応急対策を盛り込んだ地域コミュニティ継続計画を地域自らが策定し、平時から対策に取り組むことで防災直後からスムーズな対応が期待できる。しかしながら、大変な労力を要する計画策定に、地域がゼロから取り組むことは効率的でないため、まずは行政がその手本となるマニユアルを策定してはどうか。

答…総務部長

高松市では昨年度地域が災害時に取り組むべきことなどを内容とする地域コミュニティ継続計画の作成ガイドを策定しています。今後、本市においてもマニユアルの作成等について、先進事例の調査等を進めていきます。

質問の主な項目

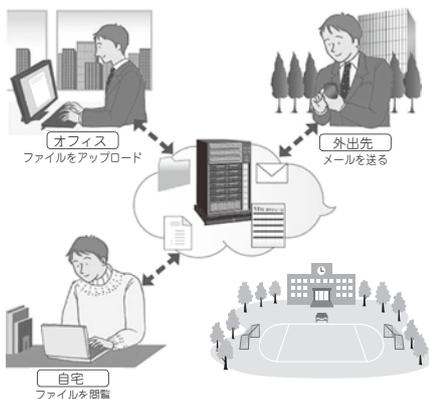
- ・地域コミュニティの活性化について
- ・仲よし教室の運営について
- ・教育クラウドの導入について

▼**教育クラウドの導入により校務支援の充実を**

問 教育クラウドの導入により、これまでUSBメモリや学校のサーバーに保存していた学校情報をクラウド上に保存することで安全を確保し、校務の効率向上を図るとともに、教員が児童生徒に向き合う時間を確保することができると期待している。県内で運用を開始した自治体もあり、本市も教育クラウドを導入すべきと考えるが。

答…教育部長

教育クラウドの効用は大きいと考えますが、現在、2市のみの導入段階であること、急を要する施設・設備等の整備が数多く控えていることから早期の導入は難しい状況です。しかしながら、導入環境が整うまで、先進導入市におけるシステム運用課題の把握に努め、円滑な導入ができるよう準備していきます。



クラウドのイメージ

茨 智仁議員 新政会

▼京町線の進捗状況と完成後の地下駐車場西出入口付近の状況は

問 JR坂出駅など多様な都市機能が集積する場所で平成24年に着手した京町線の進捗状況は。また、工事完了後の駅北口駐車場西出入口の形状はどうなるのか。

答…建設経済部長

京町線は平成24年1月から事業を進めており、平成25年度末の進捗率は、事業費ベースで約40%です。現在、バスロータリー北西から地下駐車場西出入口までの道路区間は暫定利用で変則な通行形態となっていますが、整備完了後、この区間は道路としての利用がなされなくなり、安全な利用形態となります。また、駅前広場と一体的な整備を計画しており、駅に降り立った人たちが商店街に足を向けたくなるような歩行動線を創り出し、「歩いて楽しい歩行空間」として整備します。



地下駐車場西出口付近

▼さかいでまろの活用方針は

問 坂出市公認キャラクター「さかいでまろ」は子どもたちを中心に非常に人気があるが、イベント等への出演依頼の方法を伺う。

答…建設経済部長

「さかいでまろ」は、本市の情報発信や認知度向上のため市内外のイベントや催しに積極的に参加しています。出演の依頼には、市にぎわい室へ出演希望日の3週間前までに申込書の提出が必要で、スケジュール調整などを行った後、申込者へ出演の可否を連絡することとしています。

問 「さかいでまろ」だからできる坂出のPRとは。

答…市長

「さかいでまろ」を介して市外・県外でストーリー性を持って、本市の魅力を楽しく伝えることができます。坂出はおもしろそう、訪れてみようと感じてもらえることが「さかいでまろ」だからこそできるPRと考えています。



さかいでまろ

質問の主な項目

- ・道路行政について
- ・坂出北インターについて
- ・にぎわい創出について

出田泰三議員 市民の声

▼ごみポイ捨て防止へ新たな取り組みを

問 国道11号、加茂町上氏部の三差路交差点付近で取り入れたポイ捨て防止看板の設置や道路改良によるハード面での対策に加え、ごみ持ち帰り運動などのソフト面での取り組みを推進することで、官民挙げてポイ捨て防止の強化を図っては。

答…市民生活部長

道路を汚す、車からのポイ捨てには非常に苦慮しているところですが、加茂町上氏部交差点のように道路改良でポイ捨てしにくい環境となりごみが減少した例もあることから、看板の設置や道路改良については、関係機関等と協議していきます。また、イベントにおけるごみ持ち帰り運動の推進や各種団体等ボランティアによる清掃活動に加え、今後、市民が心をつなげて美しい坂出のまちづくりに取り組むことができる方策を研究していきます。



交差点付近

▼野良犬・野良猫問題に対処するためペット情報の充実を図っては

問 野良犬・野良猫に関する苦情や相談を受けることがあるが、飼い主のモラル向上や犬・猫の里親制度を紹介するペット情報の充実を図ること、問題解決の糸口とならないか。

答…健康福祉部長

犬・猫の徘徊や騒音・糞尿被害等、市民からの苦情が寄せられる中で、飼い主のモラルの向上対策は非常に重要であると認識しています。本市においても、啓発のための情報提供を、チラシの全戸配布、広報への掲載により鋭意行っていますが、その中でも特に、ホームページにおけるペットの項目に、野良犬・野良猫への餌やりを加え、捨て犬・捨て猫防止、餌やりの自粛等の啓発記事を掲載するとともに、県のホームページへのリンクを設け、迷い犬・迷い猫の情報等を提供できる環境を整えました。

今後、幅広く的確にわかりやすい情報提供ができるよう工夫・改善に努めます。

質問の主な項目

- ・ごみポイ捨て問題について
- ・野良犬・野良猫問題について
- ・命を守る取り組みについて

斉藤 義明 議員

市民の声

▼新婚世帯への家賃補助の申請状況は

問 定住人口の増加につなげるために、新たに取り組んでいる新婚世帯家賃補助事業の申請状況は。

答 …総務部長

人口増対策の一環として本年4月から「坂出市新婚世帯家賃補助金」を実施していますが、新聞報道や本市広報誌への掲載などの効果もあり、当事者のみならず、親御さまや不動産会社からの問い合わせもある状況です。

申請に至った件数は、4月、5月が各5件、6月については6月12日現在4件であり、合計14件です。申請者の内訳は、夫婦ともに坂出市出身世帯が4件、夫のみ坂出市出身世帯が4件、妻のみ坂出市出身世帯が2件、夫婦ともに坂出市外出身世帯が4件で、結果として14人の人口増となっています。



▼男女がより自然に出会えるような婚活支援を

問 未婚女性の多くが将来の結婚を望む中、出会いの機会が少ない現状では婚活支援に積極的に取り組む必要がある。ただし、あからさまに結婚前提の婚活イベントでは参加をためらう若者も想定される。そこで、「婚活支援室」を設け、市や団体が企画するまち歩きや里山巡り、ボランティアの清掃活動なども上手く利用して自然に出会える仕組みづくりも必要と考えるが。

答 …総務部長

昨年、人口増加を目的として坂出商工会議所青年部が主催し、開催された婚活イベントは、本市のにぎわい創出に資する事業として助成を行ったものですが、地域活性化の観点からも非常に有効なものとして認識しています。婚活支援に行政としても積極的に取り組んでいきたいと考えていますが、「婚活支援室」の設置は定員適正化の観点から難しいと考えています。

質問の主な項目

- ・ 日本創成会議の人口推計について
- ・ 縦割りでなく各課を横断した取り組みの必要性について
- ・ 坂出、宇多津広域行政事務組合について

手話の普及促進を図るための環境整備を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系を持つ言語であり、手話を使う聾者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、情報収集とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、これまで聾学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきたという長い歴史がある。

このような中、2006年12月に採択された国連の障害者権利条約に、「手話は言語」であることが明記され、手話が言語として国際的に認知されることとなった。

その後、日本政府は、障害者権利条約の批准に向けて国内法の整備を進め、2011年8月に成立した改正障害者基本法第3条では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国、地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけていることから、政府と国会におかれては、下記事項を講ずるよう強く要請する。

記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に示し、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及及び研究することができる環境の整備を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

あなたの声を市政に！ 「請願」と「陳情」

6月定例会では意見書が1件可決されました

「請願」と「陳情」は市議会を通じて意見（意見書）や要望を市政や国政に伝える制度で、年齢や資格などの制限はなく、市外の人でも提出できます。

請願書の提出には1人以上の紹介議員が必要となります。

坂出市議会では、「請願」、「陳情」を委員会で審査する際に、その願意・趣旨を説明する機会を設けています。

詳しい内容は議会事務局にご連絡ください。

☎ 0877-44-5022



議会運営委員会での説明風景

総務消防委員会

付託案件 6件

全議案について異議なく案どおりました。

問 非常勤消防団員の退職報償金の支給額について一定の処遇改善が図られたことは評価するが、団員報酬額はどのような状況か。

答 県内8市では平均的な水準です。

要望 消防団は地域防災力の向上には欠かせないことから、団員確保に向けて報酬の増額についても前向きに検討するよう当委員会として要望する。

教育民生委員会

付託案件 3件

全議案について異議なく案どおりました。

教育民生委員会に付託された3議案は、いずれも債務負担行為を定めるものです。平成28年1月から運用が開始される社会保障・税番号制度の導入に伴い、国や他自治体との接続が必要となる基幹システムについて、製品サポートが終了したウィンドウズXP搭載のパソコンではセキュリティ上問題があるため、平成27年度に新たにシステムを稼働させるために必要な費用の限度額を事前に定めるものです。

市民建設委員会

付託案件 1件

全議案について異議なく案どおりました。

付託議案外で、坂出市人工土地総合再生基本計画について報告があり、種々議論が交わされました。

問 今後策定予定のグラントデザインとの関連性は。

答 グラントデザインで人工土地や近隣各種施設等の関連性が示されることで、事業全体の方向性が明確になるとともに、これから策定する基本設計の中で内容を具体化していきます。

問 人工土地再整備にかかる事業費は。

答 基本設計策定過程において、耐震補強の手法等を検討する中で事業費の算定が可能となるため、現時点では事業費を把握できません。

問 人工土地を市街地のにぎわいくりの起爆剤とするために、幅広く市民から意見を求めるべきでは。

答 基本設計策定段階においてパブリックコメントの実施を検討します。また、人工土地内店舗経営者や近隣商店街の関係者と協議していきます。

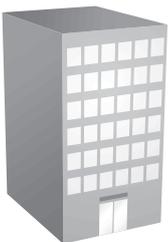
新庁舎建設特別委員会

付託議案はありませんが、新庁舎建設調査を行いました。

前回、4月10日開催の委員会では、議場に関しては一定の制約を設けた上で、多目的な活用が可能な機能とすることや、議論を戦わせる場になさわしい格式を有しつつ、開放的で親しみやすい設備構造とすること。また、円滑な議事運営に資するため、最新の情報通信技術を活用した視聴覚機能を取り入れること等を要望として取りまとめ、5月2日に議長より市長に要望書を提出しました。

今回、議会要望を反映した基本計画案を市民会議で審議した結果、会議の了解を得られたとの報告がありました。また、委員より、市民会議委員から要望のあった来庁者の子供を一時的に預るシステムについて、他市の事例を研究するなど、基本設計等を策定する中で、さらなる検討を求めている意見がありました。

今後、約1カ月間、パブリックコメントを実施した後、8月中旬に基本計画の策定を完了するとともに、基本設計・実施設計の策定を進めていくとの説明がありました。



6月定例会の日程

6月12日	本会議	提案説明	6月25日	委員会	新庁舎建設特別委員会の調査
6月17日	本会議	議案質疑・委員会付託	6月26日	委員会	議会運営委員会の調査
6月18日	本会議	一般質問（個人）	6月27日	委員会	議会運営委員会の調査
6月19日	本会議	一般質問（個人）		議員総会	
	委員会	議会運営委員会の調査		本会議	委員長報告
6月20日	委員会	総務消防委員会の審査			委員長報告への質疑・討論
6月23日	委員会	教育民生委員会の審査			・採決
6月24日	委員会	市民建設委員会の審査			追加議案の提案説明
					質疑・討論・採決

第4回議会報告会を開催

第4回目となる議会報告会を、下記のとおり実施しました。これまでで最多となる173名の市民の皆様にご参加いただきました。会場では、26年度当初予算の概要、3月定例会の審議内容などについてご報告するとともに、参加者との意見交換を通し、議会に対する貴重なご意見、ご要望を数多くいただきました。

開催日	開催場所	参加議員グループ
4月18日(金)	王越公民館	C班
4月21日(月)	加茂公民館	B班
4月24日(木)	市民ふれあい会館	B班
4月25日(金)	松山公民館	A班
4月26日(土)	与島開発総合センター	A班
	福江公民館	C班

○時間はいずれも19時から開催
(与島開発総合センターのみ13時から開催)

参加議員グループ ※正・副議長を除く

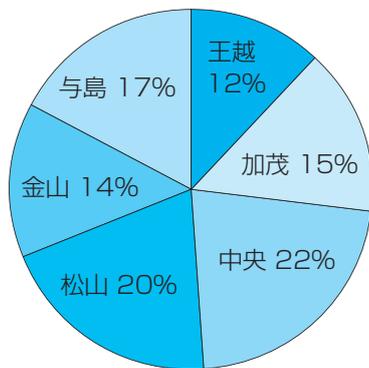
A班	齊藤義明、出田泰三、若谷修治 脇 芳美、松成国宏、東山光徳
B班	茨 智仁、楠井常夫、別府健二 松田 実、吉田耕一、木下 清 山条忠文
C班	村井孝彦、野角満昭、末包保広 植條敬介、前川昌也、大藤匡文 中河哲郎

○どの会場も大前議長もしくは若杉副議長が参加

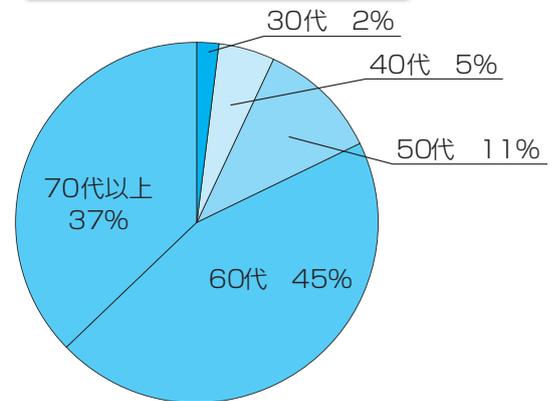
議会報告会アンケート結果

開催地区に属する町から多く参加いただいたことから、より身近な地区連合自治会単位に開催場所を変更したことが参加者の増加の主な要因と考えています。ただ、若い世代の方にもっと多く参加していただけるよう、方策を検討していきたいと思えます。

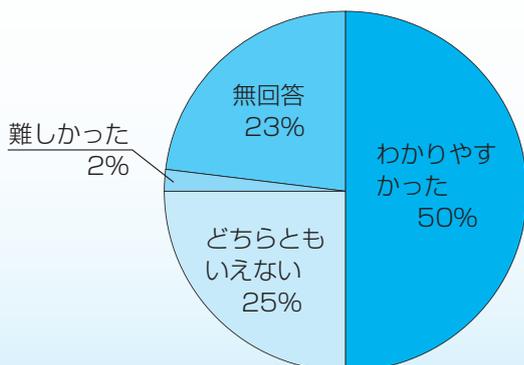
地区別参加割合



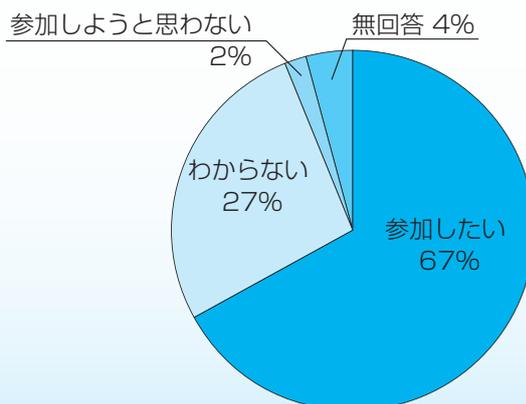
参加者の年齢



Q 報告内容はどうでしたか



Q 次回も参加しますか



議会報告会で寄せられた意見・要望等へのご回答

参加者の皆様から寄せられた意見・要望等のうち、当日、回答を保留したものや検討するとお答えしたもののうち、各委員会での所管事務調査を行ったものについて、その調査結果を抜粋してご紹介します。

なお、詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

坂出市議会



総務消防委員会

Q 電子申請した書類を各出張所等でも受け取ることができるようにしてほしい。(4/21 加茂公民館)

A 電子申請できる手続きは27種類あり、担当課も複数にまたがっています。即座に対応することは困難ですが、市民の方々の利便性向上のために、対応可能な手続きの有無について、現在、内容や申請件数等を調査しているところですので、ご理解賜りたいと思います。

Q 津波、洪水の場合はどこに避難するかを分かりやすく示した避難場所表示を設置すべきでは？(4/25 松山公民館)

A 避難場所表示を設置することで固定観念を生み、万一、表示されている経路が通行不能となった場合に臨機応変な対応ができなくなる恐れがあります。市民の方々には平時から様々な経路を想定していただき、有事の際には表示に頼らずとも自力で安全な場所へ辿り着けることが理想と考えています。

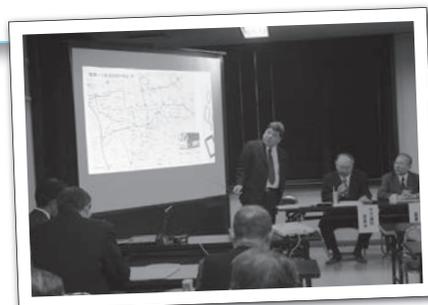
なお、観光客等の市外の方々に対しては何らかの表示が必要と考えていますので、今後、方策を検討していきたいと思います。

Q 高齢化が進む与島では消防団員の確保が難しいため、消防団員OB等を中心に防災組織を結成する予定です。今後、ポンプ車の使用も含め、関係各課と協議を行いたいが？(4/26 与島開発総合センター)

A 消防団員が法律に定めのある特別職の公務員であることに対し、防災組織員は任意団体に属することから、その職権や補償等、様々な点で扱いが異なります。

また、消防車を初め、消防団員の使用する機材については、能力や重量が一般で使用されるものと異なり、団員が訓練を積み重ねることで初めて使用が可能となることから、防災組織員が使用することは認められていません。

防災訓練などの活動に関しては、今後も危機監理室と連携しながら支援、啓発を行ってまいりますので、ご理解賜りたいと思います。



所管委員会として指摘

常勤医師の派遣を引き続き大学に要請していくという消極的な姿勢ではなく、仮に1名の医師が確保できるならば近隣の病院と協定を結び、不足する医師の派遣を依頼するなど、様々な方策を検討すべきである。

教育民生委員会

Q 娘が安心して里帰り出産できるよう、新市立病院ではぜひとも産科医師を確保してほしい。(4/21 加茂公民館)

A これまで市長を初め、病院長等が機会あるたびに香川大学医学部に働きかけを行ってまいりましたが、医師の確保には至っていません。引き続き大学に強く働きかけるとともに、あらゆる方面からの情報収集に努め、必要な医師確保に取り組んでいきます。



VOICE

～まち歩きの中で～
in 元町



チャレンジショップ「みなとまち CAFE」は、起業を目指す市内の主婦らが日替わりでオーナーとなり、得意なジャンルの料理等を提供しています。地元商店街の人々など幅広い年齢層で賑わう水曜日のランチタイムに、女性オーナーの落亀さんにお話を伺いました。

Q.「みなとまちCAFE」から発信するまちづくりとは？

A. 10年ぐらい前から商店街の人通りが少なくなってしまうと、寂しい気持ちでした。まちづくりなんて恐れ多いですが、少しでもにぎわいを取り戻してくれればと思っています。

Q.女性の目線で議会に対して望むことは？

A. 家族観の変化に伴って増加している、おひとり様対策です。お客様にも多いのですが、一人暮らしの高齢者の健康と安全を見守っていく仕組みづくりが大切だと感じています。

あと、今は女性議員がゼロなので、ぜひとも女性が市議会に進出してほしいですね。



暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどのあいさつ状を廃止しておりますので、紙上をもってごあいさつにかえさせていただきます。市民皆様のご健勝をお祈りいたします。

坂出市議会議員一同

全国市議会議長会表彰

一般表彰 議員在職 15 年以上 別府 健二

四国市議会議長会表彰

特別表彰 議員在職 24 年以上 松田 実

9月定例会で同意した人事案件 【敬称略】

◎人権擁護委員候補者 谷口 正行

編集後記

「議員の考えとそれに対する市側の見解がよくわかるようになった」平成 24 年 9 月定例会から採用した一問一答方式での質問に対する、ある市民の方からの感想です。

6 月定例会では 7 氏が一般質問に立ち市政全般にわたり議論を交わしました。今後とも各議員が個性を生かし、わかりやすい議論を心がけたいと思います。

さて皆さん、最近の市議会だよりの紙面の変化にお気づきでしょうか。写真が多くなり、主要事業の紹介や議案に対する各議員の賛否状況の掲載、また紙面に対するご意見を掲載する「VOICE」のコーナーもその一つです。

今までもすると一方通行になりがちだった議会広報ですが、皆様方の声により反映できる広報を目指してまいります。(輝)

広報広聴委員会

委員長：若杉輝久 副委員長：出田泰三

委員：若谷修治 村井孝彦 楠井常夫

末包保広 松田 実 木下 清

視察等来庁記録

7月

9日 秋田県由利本荘市
(さかいでブランド認定制度について)

16日 山形県米沢市
(坂出市立病院の建て替えと経営について)

訂正

議会だより第 150 号の記事中に誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

① 5 P：齊藤議員質問 3 番目の間

誤 学力テストの結果公表は、新年度から市教育委員会の判断に委ねられるが、本市では結果を公表していく考えか。

正 いじめ等を理由に指定校を変更し、校区外の小・中学校に通学することはできるのか。

② 10 P：審議結果のうち議案第 40 号及び議案第 53 号

誤 認定に 正 原案可決に

③ 11 P：新夢会の交付額

誤 208,000 正 208,000

次の定例会は9月上旬に開会予定です